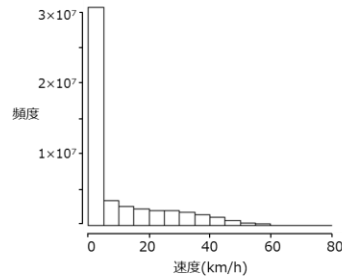


都市部での日常利用における速度調査結果

1) 速度分布

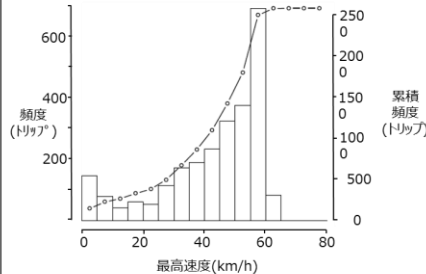
100msec毎に計測した速度の頻度分布



- ・0~5km/hは停車している状態。
- ・5km/h以上は比較的滑らかに、最高速度60km/hまで分布。

2) 最高速度分布

IG-ONからOFFまでを1トリップと規定し、1トリップ中の最高速度毎のトリップ数を集計



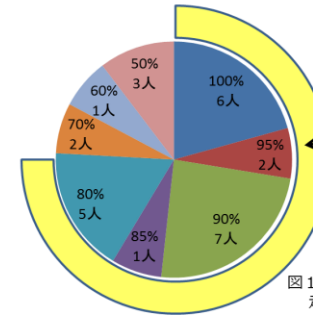
- ・60km/hまで滑らかに分布。
- ・最高速度が60km/hであったトリップ数が最も多い。

【解析対象データ】

運転者：i-ROADを1ヶ月間利用した一般のモニター（都内在住）35名
 使用車両：i-ROAD 最高速度60km/h
 期間：'15.7.4~'16.1.24 延べ走行距離：9421km 2584トリップ

都市部での日常利用における走行路のアンケート結果

走行道路



【アンケート質問】
 i-ROADで走行した道路について教えてください
 ・自動車では走ると同じ道路（約○割）
 ・自動車では走らない道路（約○割）

【回答分析結果】
 3/4の人は、8割以上自動車では走ると同じ道路を走行している。
 ・一方1/4の人は3割以上自動車では走らない道路を走行している。
 どんな道？
 ・幹線道路の脇道
 ・住宅地の中の細い道 等
 何故？
 ・車では狭くていや（車幅、対向車、路駐車両）だが、i-ROADなら安心して通れる。
 ・ショートカットできる。通ってみたかった。 等

図1. 走行した道路の内、自動車では走行する場合と同じ道路の割合。

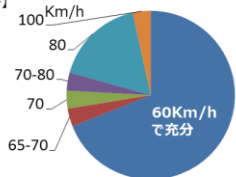
【自動車では走らない道路とは？】コメント例

- ・メインの通りと平行している裏通りや、住宅街の抜け道。理由：住宅街の抜け道は、道路にはみだた電柱などが多く自動車では避けていますがi-ROADでは特に苦もなく通過できるから。（38才男性）
- ・原宿裏の細い道、自宅と幼稚園送迎の際に使った細い道。理由：普通の車では怖くて通れないが、i-ROADなら全く問題なく走れた。（対向車が来ても気持ちが焦らない）（44才女性）
- ・商店街など人通りが多くて通りにくい道、車だと通るのにギリギリの道幅の道。理由：i-ROADなら余裕で通れそうだったから。普段行けない道を試してみたかった。（36才女性）
- ・車では車幅の関係で通れなかったり、普通なら迂回するような細い道。理由：その方がショートカットで早く行けると判断したので（28才男性）

都市部での日常利用における最高速度に関するアンケート結果

【質問】・最高速度は60km/hで充分でしたか？その理由は？
 ・不足だった場合何km/hくらいが必要ですか？その理由は？

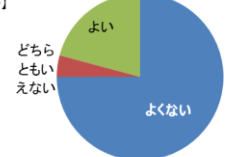
【回答】



- 2/3の人が、60km/hで充分と回答。
 ・都内一般道の流れに乗れたから充分という意見が多い。
- 1/3の人は、60km/hでは不足と感じた。
 ・不足と感じたのは、夜（早朝）の幹線道路。
 ・幹線道路で抜かれないために、中型二輪程度（100km/h）必要という方1名。

【質問】・最高速度を40km/hに制限したとしたいかですか？
 ・それでもいいか？またその理由は？
 ・よくない場合、その理由は？

【回答】



- 3/4の人が、最高速度を40km/hに制限するとよくないと回答。
 主な理由
 ・流れに乗れない
 ・危険
 ・他の車両のじゃま
- 1/5の人は、40km/hでも良いと回答。
 ・裏道を使うとか、渋滞が多いシチュエーションを考えればそれでも良い。
 ・歩行者側から見ると、細い道を走るなら40km/h制限もあった方がよい。

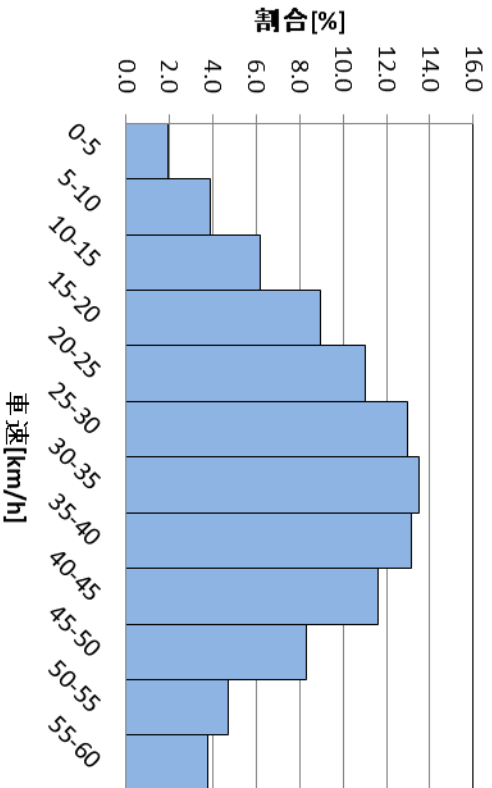
【アンケート対象】

運転者：i-ROADを1ヶ月間利用した一般のモニター（都内在住）35名
 使用車両：i-ROAD 最高速度60km/h
 期間：'15.7.4~'16.1.24 延べ走行距離：9421km 2584トリップ

第2回勉強会ご指摘

- ・超小型モビリティの最高速度の議論のためには、道路、車両形状、ユーザー属性など、より丁寧な分析が必要ではないか。
- ・超小型モビリティが使われるシーンによっては求められる最高速度も変わるのではないか。
- ・車速別の走行時間の分析はあるが、車速別の走行距離の分析も必要では。

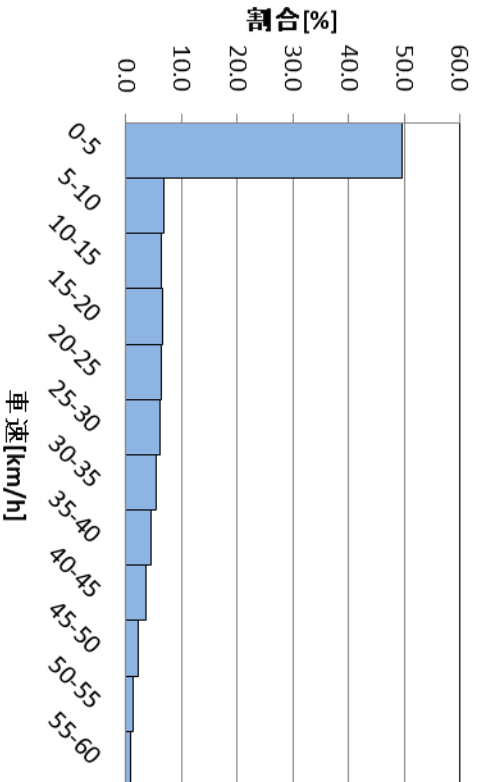
(1) 車速別の走行距離分布



期間：2015/7/4～2016/7/3
トリップ数：3,871
延べ走行時間：約1,005時間
延べ走行距離：約13,066km

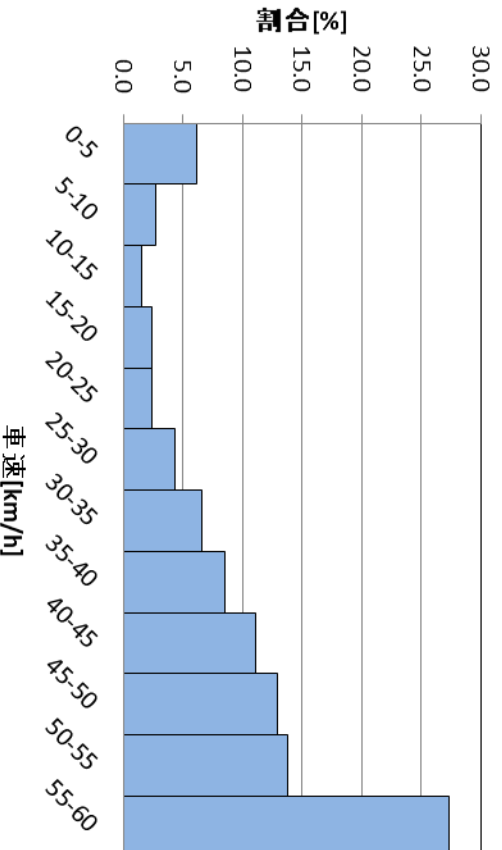
走行道路長のうち
約1割が50km/h以上
約3割が40km/h以上
で走行している。

(2) 車速別の走行時間分布



0～5km/hは停車時間が大部分と思われる。
5km/h以上は比較的滑らかに最高速度60km/hまで分布。

(3) トリップ中の最高速度分布



最高速度が55～60km/hであったトリップ数が最も多い。

OPEN ROAD車速域別走行軌跡

【解析走行データ】

期間: 2015/7/4 ~ 2016/7/3

トリップ数: 3,871トリップ

延べ走行時間: 約1,004時間

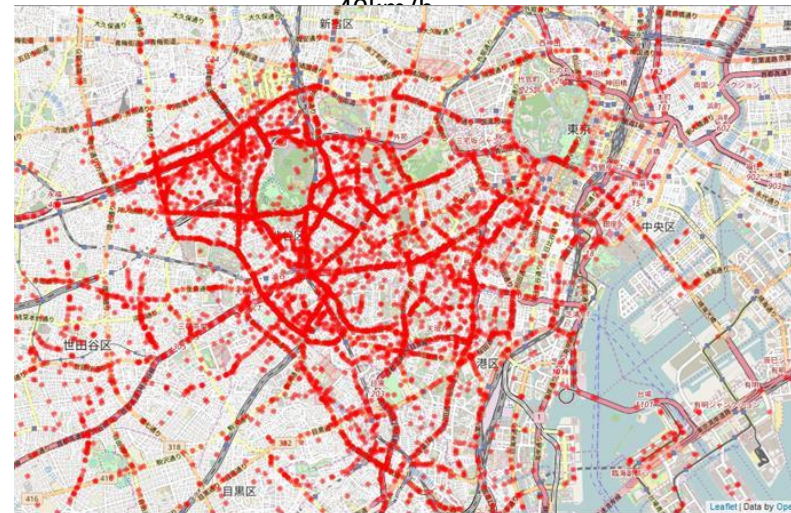
延べ走行距離: 約13,066km

③

5~30km/h



30~



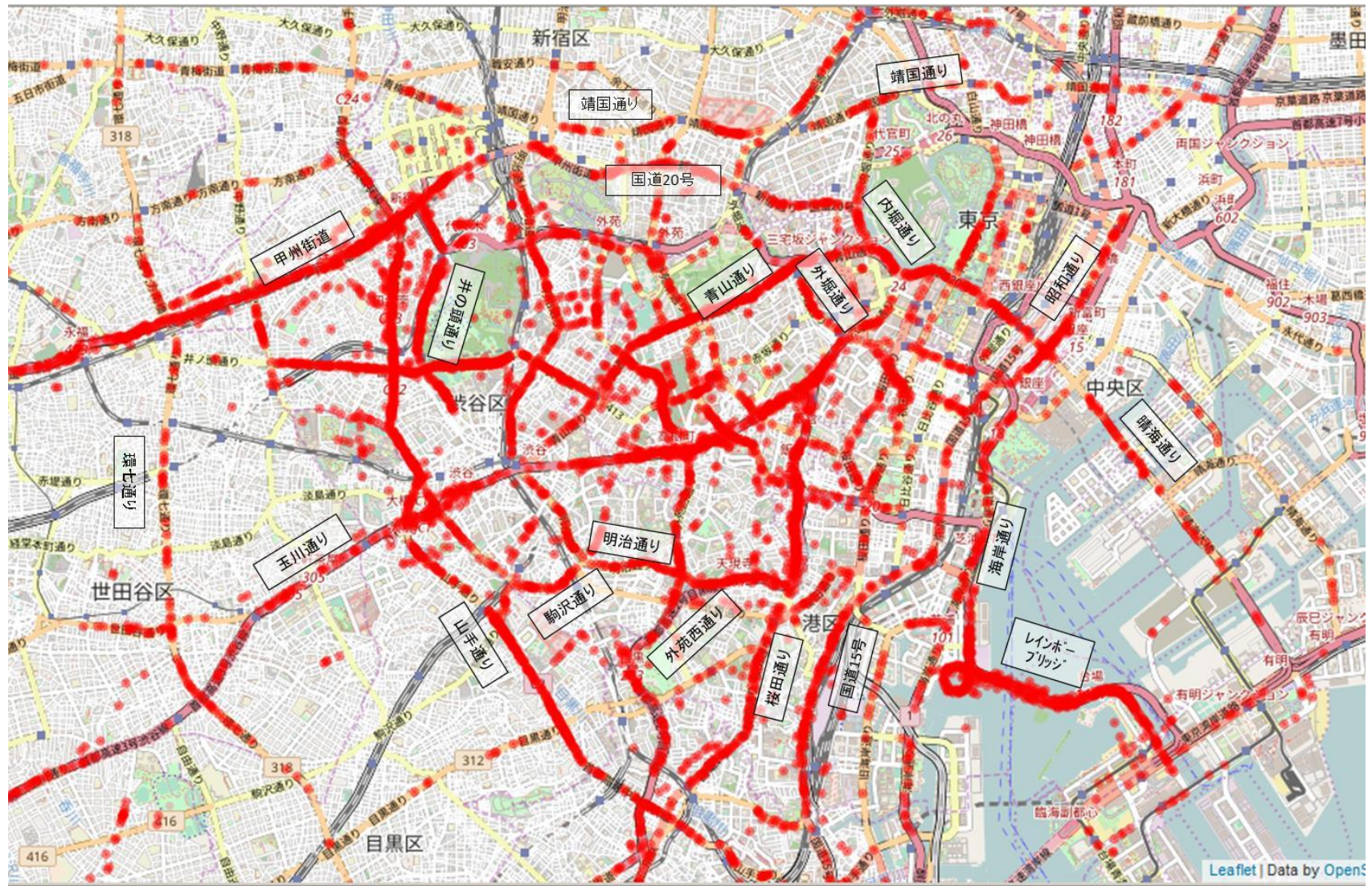
40~



50~km/h



50km/h以上の速度で走行した道路



⇒50km/hで走行したのはほぼ幹線道路

走行道路解析結果 (都市内の日常移動用途)

- 近距離移動でも幹線道路を走行するケースは多い(少し離れた場所に行く際等)。
- 幹線道路を走行する場合は、流れに乗るため50～60km/hの速度を出している。
- 一方、幹線道路ではない市街路を走行する場合は、概ね低速(約30km/h以下)で走行するケースが多い。
- 車幅が狭いので、狭い道での取り回しが容易、対向車とのすれ違い、駐車車両や電柱をよけるなどの際のストレスが小さく走りやすいといったメリットがあり、自動車の場合は走行しない道路を一部選択するケースもあった。